

106. 作圖ニ関スル彌永昌吉氏ノ談話ニツイテ

柳原吉次 (山形高)

本誌第33号ヲ彌永氏ハ *Hilbert* ノ *Grundlagen* ノ中ニ出タ作圖問題ニ関スル論述ニツイテ一疑義ヲ述ベラレタ。氏が *Eichmass* ヲ一定開角ノ円規トセラレタノハ如何ナル理由ニヨルノデアラウカ。 *Eichmass* トハ所設ノ半直線 AB 上ニ一点 C ヲ定メ、 AC ヲ特定ノ長サ e (コレハ *Eichmass* ノ長サ) ニ等シクスルノニ使フ道具デアツテ、中心 A 、半径 e ナル円ヲ画ク道具デハナイト私ハ理解シテ居ル。 *Eichmass* ヲ上述ノ意義ニ解スルナラバ *Eichmass* ニヨル操作ヲ彌永氏ノ云ハレル (E) ノ如ク定メルコトハ出来ナイ。從ツテ第5頁ノ図ニオケル円 $B'D'C'$ ヲ画クコトハ出来ナクナリ、点 D が求メラレナクナル。

次ニ一定開角ノ円規ト定木トヲ使ヘバ初等作圖が残ラズ解ケル。(但シ円ヲ画クコトハ中心ト、ソノ同上ニアル一点ヲ定メルコトヲ置換スル) ト云フ事實ハ、コレヲ一層制限シタ形ニオイテ東北教學雜誌第22卷 (大正七年) デ私が証明シタ所デアル。但シコノ所ノ証明ハ十六世紀ノ中頃 - *Cardano*; *Tartaglia* ノ間ニ生ジタ論争ノトキノ數學論戰中ノ課題ノ中ニアル個々ノ作圖題ヲ利用シテ組立テタモノデアツテ、岩波講座數學中ノ私ノ分担ノ部分初等幾何學作圖問題(I)ノ第五章トシテ説明シテアル。かゝるだの、左あたりお等が果シ

テ我々ノ考ヘテ居ルモノヲ一般的ノ結論ヲ明確ニ認識シテ居
タカ否カノ決定ニツイテハ私ハ未ダ十餘ノ材料ヲ持テ合セテ
イ。